

シルバーだより 柏崎

第103号 発行日 平成24年5月1日

発 行 (公社) 柏崎市シルバー人材センター
〒945-0032
柏崎市田塚3丁目11番30号
TEL (0257) 24-2148(代)
FAX (0257) 22-2438
編 集 同上 広報部会
印 刷 (株) 小 田

登録会員数 1,144人 男696人 女448人 4月1日現在



主な目次

23年度第2回定期総会	2
理事会だより	2
経営革新運営委員会の進め方	3
女性会員交流会	3
安全推進員および職群班合同会議	3
いきいき就業体験	4
地区的動き	5
シルバー豆知識	5
救急法講習会	6
訪問介護員(ヘルパー)研修会	6
「陽だまりパソコン教室」	6
チェーンソー講習会	6
「柏崎市シルバー人材センター」紹介	7
「ワークプラザ柏崎」紹介	7
24年度定期総会兼研修会案内	8
年間計画	8
平成24年度講習会計画	8
「やまゆり」通信	8
就業相談室	8
各種お知らせ	8

(社)柏崎市シルバー人材センター定期総会兼研修会



定期総会
兼研修会



除雪作業風景

第二回定期総会開催される

平成二十三年度、第一回定期総会兼会員研修会が三月二四日（土）午後一時から市民プラザ海のホールで開催されました。

出席者三二八名、委任状四五六名で、会員総数一、一六八名の六七%に達し、総会は成立しました。

今回は四月一日から公益社団法人に移行する前の、特定民法法人としての最後の総会であります。

千原理事長挨拶



東日本大震災が起きてちょうど一年をむかえました。折しも三月二一日から開催された、第八回春の選抜高校野球大会では、二一世紀枠の出場校、被災地石巻工業高校の主将から宣誓



議長に、大矢英夫氏（西山地区）を選出し、議長より議事録署名者を二名指名して議事に入りました。

議事

提案された四議案は、いずれの

また一番の厳しい要因は年金の支給額が漸減されて行き、収入が減つていくことです。

このような状況下で、生活を維持するための資金の運用ですが、こまめに分けて運用を図る（国債、外資預金等）ことが必要です。

○演題「もめない相続」（後段）

普段はもめるとはないと思つていても実際となると相続時肉親間でもめることが多い。このようなことを回避するため、「相続によって争族にならないために」、

が行われ、時宜を得た素晴らしいに残る内容の宣誓でした。

経済情勢が厳しく、社会情勢も良好ではありません。大震災以降幸せである」ということを国民一人一人が感じ取りました。

どうかシルバーの皆さんも健康に留意され「当たり前の生活」を当たり前に過ごしていただきたいと思います。

議案も提案通り、承認されました。

会員研修会

講師は第四銀行個人営業支援部、高橋瑞穂氏（前段）、と岸本英樹氏（後段）から講演を頂きました。

○演題「守りの運用」（前段）

日本は少子高齢化時代をむかえ、子供に手厚く老後に厳しい時代になります。子供には医療費を安くして、子ども手当等で厚く優遇していますが、高齢者にはまず税金関係で控除枠の項目の削減が進み、云いかえれば税金の負担が多くなってきています。

さらに増税（消費税）が目の前に迫っています。

また一番の厳しい要因は年金の支給額が漸減されて行き、収入が減つていくことです。

このように状況下で、生活を維持するための資金の運用ですが、こまめに分けて運用を図る（国債、外資預金等）ことが必要です。

- ① 財産の一覧表（預貯金、保険、投資等）を書き残す。
- ② 負の財産（借金）を明確にしておく。
- ③ 「遺言」を書く。

二つの講演は我々高齢者にとっては、大変参考になり有意義なお話をだつたと思います。

理事会だより

（第四回）一月二九日（水）

一、議題

- 入退会者承認について（十一月～一月）入会十五人、退会三五人、一千人減
- 一二三年度補正予算（案）について
- 二月、三月の見込みについて
- 一二四年度事業計画及び予算案について
- 「資金調達及び設備投資の見込み」について
- 役員賠償責任保険について
- 右、事務局の提案通り承認

- 二、その他
- 三月一四日の予算総会について
 - 経営革新会議（運営委員会）について
 - 公益社団法人の認定について
 - （「新潟県公益認定等審査会」二月二十日審査）
 - その他

経営革新運営委員会の進め方

委員長 渕岡 克生

ここ数年、景気低迷の影響で受注が減少し、一方シルバー人材センターに対する補助金も、国や市的情勢の変化から大きく減らされています。

当センターはそうした危機を回避すべく、経営革新委員会を立ち上げ、平成二三年には運営委員会（小委員会）を設置。現状を把握し、平成二三年度より始まる次期中長期計画に、当センターが存続していくための方策を検討し、実現に向けての行動を開始しました。

運営委員会は、過去七回に亘つて論議を行な、まず、現状把握と今後の日程を決めるために、職員との面談を行い、計画を立案し、平成二四年一月に計画推進と実施について経営革新委員会に報告し、理事会で承認されました。

具体的には市に提出したセンターの運営指針に基づき、目標を定め推進することとなります。大綱は次の通りです。

- 一、事業の拡大のため営業体制を強化する。
- ①営業体制の強化。②公共事業の受注の拡大。③一般家庭および民間企業へのアプローチ。
- 二、役員・事務局体制の強化と独自財源の確保、拡大を図る。

①職員の適正配置による仕事を断らない体制づくり。②伸びる分野での独自事業の実施。③やまゆりと介護保険分野の充実。ワーカープラザの改善と顧客の開拓。④役員および会員の資質の向上とコミュニケーションの充実。

三、経費の節減等。

まず初年度（二二年度）実施により、①公共事業とチラシ配布と職員の努力による受注増。②みんなの農業事業の開始等、少し成果が見られます。

しかし、依然として景気は悪くむしろ消費税のアップ、補助金の減少、会員も減少が予想され、今後も厳しい状況は続きます。

運営委員会としては今後も推進状況をチェックし、目標に向かってまい進していかなければなりません。

全員一丸となつて柏崎市シルバー人材センター存続のためがんばりましょう。

女性交流会に参加して

近藤 純子

日頃の仕事のねぎらいとストレスの解消、そして笑顔で頑張つて頂くための交流会が行われました。職種の異なる皆さんが、互いに会話しながら手を取り合つてゲームに熱中し笑顔になつてていく。童心に返らせて頂いた指導員の栗林さんの心の響は通じていたと思います。

さて、この交流会をきっかけに仕事をいだく顧客に感謝しつつ、



安全推進員および職群班合同会議開催

三月二八日、合同会議が安全部主催でワーカープラザ柏崎にて開催され、百六十名が出席しました。

理事長挨拶の後、早津安全部会長から二三年度の事故発生状況の報告がなされ、発生件数は少なくなつたが、残念ながら入院件数が必ずある。また全シ協では重篤事故が減つていない。

次いで栗田安全部会員から、雪下ろし作業をバトロールした結果が報告されました。

安全研修として、危険予知トレーニングが、行われました。

また、シルバー会員の増員を図るため、会員の皆さんから、それぞれ友人知人に働きかけてもらいたい旨、岡田研修部会長のほうから要望されました。

いきいき

就業体験

私達の仲間はいろいろなところで活躍しています。会員皆様の生の声を掲載いたします。

屋根除雪班奮戦記

比角地区 石黒 信行



昨年度より始まつた屋根除雪班は、一月十二日より作業開始となりました。スタッフ十人中十人が前年経験者ということで、皆さん余裕もつてスタートがきれました。今年の最難関は清水谷の冬期不在家屋でした。総勢九人で行くことにしました。大きな家には四段をこえる雪が圧倒的迫力で目の前に出現しました。大屋根に取り付けて、コタツの中でもソファに腰掛けても主人と会話しながらでも作業を進めます。四段ともなりますと四段にわたり掘り下げてい

くこととなりました。時折雪の舞う中、皆大汗をかいての五時間半の作業がありました。昼食は隣の曾田さんご厚意により、家に招じ入れていただき、皆でワイワイとお弁当を食べました。曾田さん本当にありがとうございました。
というようなことで屋根除雪班は今年も和気あいあい楽しくやれました。そして三月十五日納会を行い、本期の仕事は終りとなりました。

また、来冬皆さん元気に再会できますよう念じています。

私の出来る仕事

比角地区 斎藤 啓子

去年の九月頃より、内職の仕事をする事になりました。期日と寸法が決められているので私も数ができるかなーと不安でしたが、自分なりに無理なく出来たが、自分なりに無理なく出来る数で良いということで、安心して受け取ることにしました。

自分の手のあいた時間に自由にでき、コタツの中でもソファに腰掛けても主人と会話しながらでも仕事ができます。チョット根気のいる仕事ですが、もともと細かい



今はそこそこの数もできるようになりました。これからも期日を守り、きちんと仕事をするよう心がけて、楽しみながら私の生涯として頑張りたいと思って居ます。

有料老人ホームの掃除

海岸地区 飛田美智子

秋には醉芙蓉の花に囲まれる有料老人ホーム「桜寿」で二人で交替で掃除に行っております。朝八時～十二時までです。

私は挨拶が一番大切だと思います。ドアを開ける前に一呼吸を確認します。「お世話をになります」との挨拶で帰ります。またがんばるぞと思います。



今日も「ガングバルゾ」と心にい聞かせ仕事の始まりです。職員さんたちの忙しさに負けず、私も頑張ります。トイレのすみっこ、目立たない場所、衛生面には注意をしています。掃除をしながら今日はあの方が見えない、「どうしたんだろう」と心配します。入所している方々は人生の大先輩です。失礼にならないように注意して仕事をしております。人生の勉強になります。

今では入所者の方、職員の方と

西中・中通地区



地区の動き

地 区	日 付	会 場	参 加 者 数
西中・中通	12月 2 日	大家	19名
松 浜	12月11日	松波会館	21名
北 条	12月11日	藤の屋	11名
東 部	2月 5 日	産業文化会館	21名
西 山	2月28日	村田屋	29名
田 尻	3月10日	肉よし	19名

松浜地区



東部地区



西山地区



田尻地区



地区懇談会について

シルバー豆知識
知つておいて欲しいこと
その四十三

平成二四年度より、公益社団法人に移行することにより、地区資金の助成がなくなりますが、当シルバー人材センターでは引きつづき会員の皆さまの親睦と意見交換を兼ねて、地区懇談会を開催したいと考えております。

これは、会員の方だけでなく、地域のみなさまにもシルバー人材センターを知っていたため、入会を考えている方や仕事の依頼を考えている方に、センターの紹介も兼ねて行うものです。
時期に関しては秋から冬にかけて開催する予定ですので、その際は多数のご出席をお願いします。



救急法講習会

二月二一日、婦人部会主催で、シルバー人材センター技能訓練室にて日本赤十字社より講師を迎えてシルバー会員十九名が参加し開催されました。



救急救命の必要性をお話しいた
だき、最近市の施設等を中心に普及
及しているAEDの使い方や人工
呼吸、心臓マッサージの説明を
していただいた後、一人一人実践
させていただきました。
会員からの質問もあり、有意義
な講習会になつたことと存ります。

訪問介護員（ヘルパー）研修会開催



ヘルパー研修の様子

事務局より要望事項を話した後、テーブル毎に分かれ事例検討、意見交換を行い、最後にお茶とお菓子で茶話会をしました。
積極的な意見交換が行われ、広い研修室がヘルパーの熱気でいっぱいになりました。

三月二十四日ヘルパー全体研修が開催され、五六名の参加があり会員三十名が参加しました。

これは、労働安全衛生法において、チェーンソーを用いて行う伐木等の業務は、危険有害業務として特別教育を実施することが義務づけられているからです。

初日は主に室内講義、二日目は実技講習を主体に行われました。参加された会員は、みなさん講師の話に聞き入り、質問もされていました。とても役に立つた講義だったことだと思います。
受講修了者には修了証が交付されました。



チエーンソー講習会

三月七日、八日の二日間にわたり、「チエーンソー作業従事者特別教育講習会」が開かれ、シルバーメンバー二十名が参加しました。

これは、労働安全衛生法において、チェーンソーを用いて行う伐木等の業務は、危険有害業務として特別教育を実施することが義務づけられているからです。

初日は主に室内講義、二日目は実技講習を主体に行われました。参加された会員は、みなさん講師の話に聞き入り、質問もされていました。とても役に立つた講義だったことだと思います。
受講修了者には修了証が交付されました。

「陽だまりパソコン教室」の案内

中高齢者のパソコン同好会がシルバー人材センターのパソコンアップを得てパソコン教室を開催します。

日時 六月十八日～七月四日
全八日間（月、水、金）
午前九時半～十一時半

ワークプラザ柏崎
ワードで完成文書作り。
(町内会の案内文書やチラシ、差し込み印刷)

対象 中高齢者のパソコン同好会
内 容 ワードに、文字入力
場 所 ができる人。
パソコンはビスタ又
はウインドウズ7の
ノートパソコンを持参
できる人。

申込要領 ワードに、文字入力
ができる人。
パソコンはビスタ又
はウインドウズ7の
ノートパソコンを持参
できる人。

定 員 十五人

受講料 七千円（テキスト代、含む）
講希望、住所、氏名、電話
番号、生年月日、手持ちの
パソコンコンビスタまたは7と
記入して 事務局へ
※受講の諾否は後日、はがきにて
通知します。

事務局

鏡町六一三
〒945-0053

今井 清

「柏崎市シルバー人材センター」紹介 第四回

今回はリサイクル事業について紹介します。

柏崎市シルバー人材センターでは、「再生自転車回収・販売」、「EMボカシ製造販売」、「チャイルドシート貸付業務」、「刃物研ぎ」をおこなっております。

EMボカシ製造販売

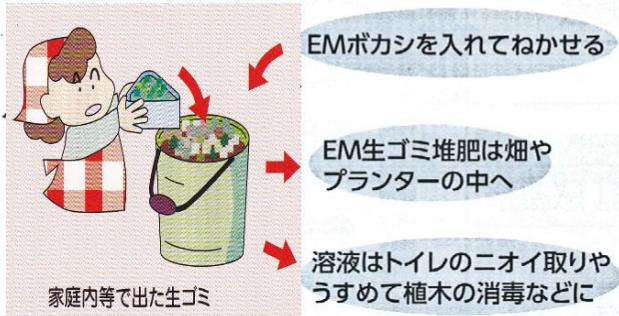
生ゴミまでリサイクルしちゃいます

EMボカシを
製造販売

1kg 400円

専用容器も
斡旋しています。

2,100円位



刃物研ぎ

ご家族の包丁、ハサミ、鎌、ナタ等をピカピカに再生します。週末には各町内に出張しています。

シルバー事務局

(☎24-2148)

でもお預かりします。

包丁 500円～
ハサミ 500円～
鎌 200円～
ナタ類 1,000円位



チャイルドシート

市民の皆様や各種団体からご寄附いただいたチャイルドシートを、クリーニングして必要な方に貸しするサービスです。

3,800円
～5,000円程度
貸付期間
7ヶ月～3年間

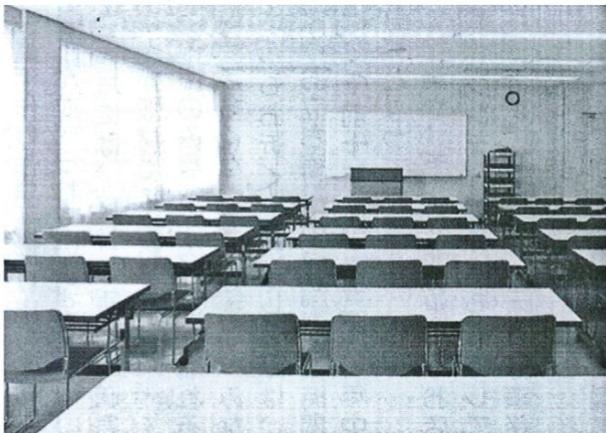


再生自転車



放置自転車やゴミとして出された自転車を再生してイベントなどの際安価で販売します。

5,000円～8,000円位



ワークプラザ柏崎の各お部屋(室)の紹介をします。

今回は研修室と講習室についてご案内します。

○研修室
*室の大きさ (九三m²)
定員 六三名

正面壁にスクリーンを完備し、研修会や展示会等、利用の多いお部屋となっております。机、椅子は片付けてあり、軽い運動などにもすぐにご利用いただけます。

○第一講習室、第二講習室
*室の大きさ (七三m²×二)
定員 九九名(第一、第二講習室ご利用)
各部屋は三九名

第一講習室は、研修室と同様に正面壁にスクリーンを完備し、第一講習室、第二講習室をつなげると、研修室より広くなります。研修会や展示会等の利用の多いお部屋となっております。机、椅子は片付けてあり、軽い運動などにもすぐにご利用いただけます。

「ワークプラザ柏崎」紹介 その四

その四

平成24年度の主な行事予定

6月	定期総会兼会員研修会
7月	安全就業強化月間
秋	一泊研修旅行
9月	「ワークプラザ柏崎」感謝祭
10月	事業普及啓発月間
2月	会員ふれあい交流会



やまゆり通信

シルバーふれあいサロン

定期総会兼会員研修会のお知らせ

平成24年度定期総会兼会員研修会を開催します。

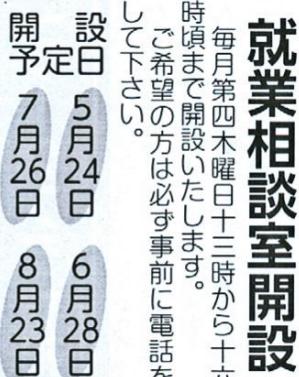
- 日時 平成24年 6月23日 (土)
午後1時より
- 会場 市民プラザ 2階

詳細は後日、ご案内いたします

平成24年度シニアワークプログラム事業計画

講習月	講習名	募集人数
7月～	ホームヘルパー2級(資格取得)講習	20
7月～	営農サポートー講習	20

全講習が会員だけでなく、一般の方も受講可能です。
5月連休以降パンフレットができます。事務所・商工会議所・ハローワークに置いてありますので、ご覧のうえ、お申し込み下さい。



就業相談室開設

二四年度年会費は四月末までに納入することになります。まだ納入されてない方は至急ご入金下さい。
なお、事務所に持つてこられる方は必ず先日お送りした振込用紙を持参ください。

三月二四日の総会で提案された予算案は、東日本大震災や諸々の影響で悪化している経済状況を受けて、大変厳しい内容になっています。また、研修会での講師の話では、高齢者に対する税の負担が増すこと、また物価の上昇とそれに伴う高齢者の暮らし向きも今後さらに厳しくなっていくようです。

そうした中で、少しでも豊かな人生を送るために、シルバー人材での絆・助け合いの大切さを感じさせられました。

(中静)

年会費納入について

会員手作り作品他掘り出し物がたくさん並べられています。
三月には、NHK新潟放送局さんが取材にこられました。
市民のみなさんの目にふれる機会が多くなっています。みなさんもお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。営業時間は、午前十時～午後三時、年中無休となっています。
野菜や、手作り品の出品、お店番ボランティアの方も募集しております。お願いできる方は事務局までご連絡下さい。

編集後記

シルバーの仕事の紹介、事業の案内
毎週、金曜日午後一時～三時まで開いています。お気軽に
おいでください。

電話22-22231番です
テレフォンサービス開設中

「やまゆり」
無料パソコン
相談コーナー